

ホームレス ワールドカップ

5/22 トークショー @ライズX

公開初日となる5月22日に公開を記念してトークショーが行われました！ご登壇頂いたのは、ビッグイシュー基金スタッフの長谷川知広さんとホームレスサッカーチーム卒業選手の五味川祐太郎さんです。現役のホームレスサッカーチームの選手は、残念ながら体調不良のため、欠席となりました。



長谷川さんは、ビッグイシュー基金のスタッフとしてホームレスサッカーチームを担当し、月2回行われている練習のサポートなどをされています。五味川さんは昨年行われたホームレス・ワールドカップミラノ大会にも出場し、フェアプレー賞を受賞、その後現在は自立した生活をされています。日本のホームレスサッカーチームは、この作品の舞台となっている2006年大会には出場できませんでしたが、2004年のスウェーデンのイエーテボリ大会と昨年のミラノ大会に出場しています。今回はお二人に、ホームレスの方々の現状や、ホームレス・ワールドカップに出場した時のエピソードなどについて語って頂きました。

長谷川さん

「実は、日本にもホームレスサッカーチームというものがあ、僕の所属しているビッグイシューという団体が、サポートしています。路上でホームレスの方々がビッグイシューという雑誌を売り、自ら生計を立て、自立することを支援しているのですが、その一環で、こうしてサッカーや、ダンスなどサークルのようなこともしているんです。友達がい、ゴールに向かって頑張ることが、彼らには必要だと思っています。」

五味川さん

「僕は、20歳のとき、働いていた仕事を急にクビになり、寮を追い出されて、身寄りもなかったためにホームレスになってしまいました。育ててもらった養護施設の先生に「路上脱出ガイド」を貰い、ビッグイシュー販売の仕事を紹介してもらおうと、ビッグイシューの事務所を訪れたとき、ホームレスサッカーチームに誘われたんです。実際に出場したホームレス・ワールドカップは、小学生の時からサッカーをしてきた中でも、一番楽しい大会でした。世界中の選手とジェスチャーでコミュニケーションを取ることが嬉しかったし、大会で自分以外の誰かが点を入れた時が、なにより一番嬉しかった。やれば出来るという気持ちになったし、これからの自信にも繋がりました。ホームレスの人々は、もう一度自立しようと頑張っているんだということを周りの人に伝えてほしいです。」

“ビッグイシュー”の詳細はHPの下方をご覧ください。